

⇒ 快適なマンション生活を共に築きましょう！

エステート大通 管理組合 ニュース

2019年9月1日(日) No.24 発行者：エステート大通管理組合

委託会社 ▶ (株)東急コミュニティー 当マンションHP ▶ <http://est18s.kei1.org/>

台風・地震などの認識深めよう 9月1日は防災の日です。

札幌市内の火災発生件数は2017年で474件とほぼ1日あたり1.3件の発生となっています。火災の多くは建物火災で、全火災件数の約7割、死亡者は19人、そのうち逃げ遅れで亡くなられた方は16人(うち高齢者が11人)と札幌市消防局が注意を促しています。火災は一端起こると悲惨なことになります。こうした中、当マンションでは6月28日に消防訓練となる防火に関する懇親会を開催しています。

もし火災に遭遇したときは、札幌市のホームページなどでは、「まず逃げる」避難することと切り切っています。その説明では、煙の性質・危険性について、こう述べています。

煙は、天井などに一時的にたまり、そこから徐々に降りてきます。煙の進む早さは、上昇するとき(縦方向)で毎秒3~5メートル(かけ足の早さ)、横方向への広がり毎秒0.5~1メートル(歩く速さ)です。煙には、有毒ガス(一酸化炭素等)が含まれています。そのため、煙を吸うと体が動かなくなったり、死につながる場合があります。もし火災になったらまず逃げることです。大切なのは「防災の日常化」です。

防災の日ってなに

1960年に国が定めた啓発デー。
台風、地震等の災害に関する国民の知識を深め、災害に対処する心構えを準備することを目的とする。日付は1923年9月1日に発生した関東大震災に由来する。



第30回 防災ポスターコンクール 入賞作品
岐阜県立岐阜総合学園高等学校高校2年
岩田 悠子 (いわた ゆうこ)さん

定例理事会報告

来年度、エレベーター耐震化工事計画

当マンション理事会は8月28日第6回定例理事会を開き、消防用設備点検などの報告を受けました。また、灯油設備のリニューアルでは8月26日に業務を完了しています。完了報告書は後日提出があります。

このほか検討事項として、マンション1階廊下で「異臭がする」との指摘がありますので、これ件は害虫駆除業者に現在依頼中です。業者側は、繁忙期のためもう少し待ってほしいとのこと。

建物の設備では、エレベーターの耐震工事が必要なことから、今期での予算計上がないので11月以降の新年度で実施を計画しています。

札幌市内の火災の現状

最近多いのは「電気」関連火災

安心安全はまず防火から

エレベーターの耐震工事計画 地震後に自動復旧システムが可動

昨秋の大地震のようなことが今後ないとはいえませんので、管理組合は居住者の安心安全を期するため、さまざまな最善策を講じ参ります。

そこで今回、エレベーターの耐震対策工事を計画したところです。建築基準法施工令の一部改正によって、基準が改められました。現行エレベーターは定期検査において、耐震対策に関する検査項目で「既存不適格」となっており、この改善が求められています。安全性・耐震性を高めるための強化対策が今回計画している工事になります。

なお、この工事により付加される装置として「地震時のエレベーター自動診断・復旧システム」が加わります。これは地震によりエレベーターが自動停止した場合、従前その復旧が関係者の人的対応でしたが今後は、外のエレベーターセンターによるリモートコントロールにより数十分で復旧しますので、かなりの時間短縮が図られます。工事の実施に当たっては、新年度予算においての取り組みとなります。いまのところ12月の年内を予定しています。工事期間は1日となります。



札幌市の火災状況ですが、2017年の統計によると、火災の全件数は474件です。そのうち一番多いのは「こんろ」の使用です。77件の火災がありました。こんろにかけた天ぷら鍋を放置したまま忘れてしまったとかで、火災になっています。



次いで多かったのは、「電気」器具による出火とのこと。火災は65件。コンセントとプラグの間にごみがたまって、それが原因での出火などこまめな掃除や点検が必要です。中央消防署によると、最近では電気関連の火災が大変多いということです。

三位は、「放火」57件に上がっています。深夜人目を避けて無作為発作的に実行されます。とんでもない犯罪です。これがマンション全体に影響すれば大変な事態になります。放火に対処するには「放火されない環境づくり」がなんといっても重要です。郵便受けからペーパーが出ていませんか、廊下に段ボールなど置きっ放しにいませんか、とにかく燃えやすいものを共用部分に置かないことです。

四位が「たばこ」による火災で44件です。何気なく吸っているたばこの温度は約700℃。これが可燃物にふれると直ぐに発火します。喫煙マナーを守って、出火にならないよう注意しましょう。五位が「ストーブ」で34件でした。

全区で中央区の火災が最多

区別の火災発生件数は、中央区が83件と最も多くなっています。次いで北区(76件)、東区(67件)、手稲区(21件)となっています。

とにかく火災に注意を、ちょうど9月1日は「防災の日」でもあり、マンションあげて安心安全な快適な環境を継続しましょう。

ごみ出しは分別し、決められた日を守りましょう。いつでも出ていると放火のターゲットになります。



理事会からのお知らせ



マンション郵便受けの整理整とんを!

1階ロビーの郵便受けの利用で、メールがあふれているボックスがあります。特に非居住者のボックスですが、適宜ボックス内の整理をお願いします。ボックス内の私信に関しては、マンション管理として出来ませんので、各人の責任となります。



特にペーパーなどがボックスから飛び出していると、火災のもととなります。市内の火災の中で放火が結構多い状況ですから、マンション居住者の安心安全のことからもみんなのため、郵便受けの整理整とんは徹底しましょう。